

# 文教厚生委員会議会報告会報告書

報告日：令和5年12月6日

出席者	参加者	7人	
	議会側	<p>【文教厚生委員】玉川委員長、景山副委員長、山田委員、下向委員、岩崎委員、貞岩委員、北林委員</p> <p>【委員外議員】木村議員、原田議員、向井議員、小池議員、中曾議員、大下議員、坂元議員、谷議員</p>	
開催日時		令和5年11月14日（火）15：00～16：30	
開催場所		志和堀地域センター	
実施内容報告	議会報告	テーマ	健康増進と福祉について～高齢者の皆様のための施策～
		概要	<p>冒頭、地方行政における議会の立ち位置について、「二元代表制」として説明。高齢者施策については、元気な老後を送っていただくために「生活支援事業」・「高齢者介護事業」の概要をお伝えした。</p> <p>特に、「元気輝きポイント制度」については、自助・互助活動によるポイント獲得を行うことから、参加を喚起させる事業として、より詳しく説明を行った。</p> <p>加えて、当該制度に関する議会一般質問等の内容についても紹介している。</p>
	質疑応答	<p>①ふれあい収集とは何かとの質疑があり、ゴミステーションにゴミを持っていくことが困難な高齢者世帯等からの申込によって、戸別収集を行う制度と回答した。</p> <p>②元気輝きポイント制度のどういうところが成果指標となるのか、互助のポイント設定ではモチベーションが上がらないのではとの質疑があり、成果指標については少し長い時間をかけて見ていく必要があり、互助については、高齢者の皆さんが元気な日常を送るためにポイント設定を行っていることから、一定の成果は上がってきていると回答した。</p>	
	意見交換	テーマ	健康増進と福祉について
敬老会について		<p>【相手方意見】</p> <p>敬老会の実施方法について、他地域の実例を参考にしたいことから、アンケートを行って情報収集を行い、その結果を周知して欲しい。</p>	

実施内容報告	意見交換	<p><b>【議会側意見】</b> 担当部局にご要望をお伝えする。</p>
		<p>志和町にない福祉関係施設の設置について</p>
		<p><b>【相手方意見】</b> 志和中学校隣接の生涯学習センターが取り壊され、人が集まる施設が減っていく中、志和町には福祉の施設がない。各町に一箇所は必要ではないかと思うことから、要望したい。</p>
		<p><b>【議会側意見】</b> 施設については、地域センター等に保健福祉の機能を持たせる等、複数の機能を持っている場合もある。また、現在ある公共施設については「公共施設の適正化計画」に従い、管理運営が定められている。保健福祉機能を持った施設建設については、要望として担当部局にお伝えする。</p>
		<p>農業について</p>
		<p><b>【相手方意見】</b> 市の中心部でなく、周辺部においては農業の活性化によって人口が増えると考えているが、新規就農する農業者が確保できる農地の条件が悪く水路等インフラの補修が必要となる場合がある。改善できないか。</p>
		<p><b>【議会側意見】</b> 水路補修については、小規模（小規模土地改良事業）で行う方法もあることから、お考えいただきたい。</p>
		<p>有機野菜による学校給食の実現について</p>
		<p><b>【相手方意見】</b> 現在、有機野菜の栽培に取り組んでいるが、学校給食に使うことはできないか。</p>
		<p><b>【議会側意見】</b> 有機野菜による給食の実現には、まず、ロットをそろえていただく必要がある。さらに、給食センターで作られることから、その規格に合わせる必要がある。</p>

<p style="text-align: center;">実施 内容 報告</p>	<p>意見交換</p>	<p>コミュニティバス事業について</p> <p><b>【相手方意見】</b></p> <p>①志和町内において来年3月から、デマンド交通（バス）のテスト運行が始まる。運賃はとりあえず300円が予定されているが、元気輝きポイントの活用によって、運賃を200円に下げることができないか。</p> <p>②その他、バス事業にプラスとなる施策はないか。</p>
		<p><b>【議会側意見】</b></p> <p>①コミュニティバス事業については、市でやるというのではなく、その地域で考えていくべきものであり、運賃は、その中で決まってくる性質のものである。</p> <p>②市内には、同様のバス事業を検討している地区が複数あることから、事業の執行について参考になるだろうし、知恵比べになるのではないか。</p>
<p>その他 特記事項 (意見・感想等)</p>	<p>○生涯学習センターの取り壊しによって、地域において健康づくり事業に係わっていた施設がなくなったとの認識が示され、現在その機能は小学校区ごとの地域センターに移っている。しかし市内には、地域センターすら未設置エリアがあり、地域間格差ではないかと感じるところである。</p> <p>○農業によって結ばれている地域は、農業が衰退することによって、地域コミュニティそのものが失われ、地域そのものの存続にも深く影響する。その意味からしても、大胆な農業振興策を講ずるべきである。</p>	

# 文教厚生委員会議会報告会報告書

報告日：令和5年12月6日

出席者	参加者	21人	
	議会側	<p>【文教厚生委員】玉川委員長、景山副委員長、山田委員、下向委員、岩崎委員、貞岩委員、北林委員</p> <p>【委員外議員】向井議員、小池議員、中曾議員、大下議員、田坂議員、中川議員、重森議員、石原議員</p>	
開催日時		令和5年11月15日（水）15：00～16：30	
開催場所		八本松地域センター	
実施内容報告	議会報告	テーマ	健康増進と福祉について～高齢者の皆様のための施策～
		概要	<p>冒頭、地方行政における議会の立ち位置について、「二元代表制」として説明。高齢者施策については、元気な老後を送っていただくために「生活支援事業」・「高齢者介護事業」の概要をお伝えした。</p> <p>特に、「元気輝きポイント制度」については、自助・互助活動によるポイント獲得を行うことから、参加を喚起させる事業として、より詳しく説明を行った。</p> <p>加えて、当該制度に関する議会一般質問等の内容についても紹介している。</p>
		質疑応答	<p>①「命の宝箱」とは何かとの質疑があり、具合が悪くなった時等、緊急時の知らせるべき内容を記述したものをペットボトル等に入れ、シールを貼って冷蔵庫の目立つ場所に入れておくものと説明し、担当窓口でシール等を配布していることをお伝えした。広報紙等でもっと広報してほしいとの意見があった。</p> <p>②高齢者のタクシー等割引乗車はどれくらい使われているのかとの質疑に対し、当該事業の概要と、令和4年度の交付人数・枚数、決算額等を説明した。</p> <p>③元気輝きポイント制度の事務費として委託料2,000万円を説明したが、その額の決定について質疑があり、一般競争入札により決まった結果と説明した。</p> <p>④日本の医療費は直近で45兆円と膨らんでおり、このままでは国がつぶれてしまう。このような背景で、元気輝きポイント制度がどれくらい医療費抑制に効果があるのかを示していく必要があるのではないか、との意見があり、高齢化に伴い日本の医療費は1年で1兆円程度高くなっている現状の中、医療費抑制のためにも当該制度をしっかりと活用して健康増進を図るとともに、しっかりと事業効果を見える化して検証していく必要があると考えている旨を説明した。</p>

実施内容報告	意見交換	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">テーマ</td> <td>健康増進と福祉について</td> </tr> </table>	テーマ	健康増進と福祉について
		テーマ	健康増進と福祉について	
		元気輝きポイント制度の活動対象設定について		
		<p>【相手方意見】</p> <p>対象となる活動に一定の基準を設けているが、対象外であっても柔軟に対応できるように制度の改善を求める。また、個人の活動に対象を広げていくべきだと考えるがいかがか。</p>		
		<p>【議会側意見】</p> <p>他自治体の先行事例を取り入れて、現行の百歳体操及び通いの場の活動にポイント制度を組み合わせたため、不自然さもあるものと推察される。内容を精査して、活動実態に合わせた制度運用となるよう研究する。</p>		
		元気輝きポイント制度の周知について		
		<p>【相手方意見】</p> <p>制度の目的・内容が、対象者全体に伝わっていないのではないか。一部役員が主導する活動のように思えるがいかがか。制度開始に当たっては、行政が地域を回り、しっかりと事前説明すべきである。また、議員ももっと関心を持って地域の現場で関わって欲しい。</p>		
		<p>【議会側意見】</p> <p>制度に課題はあるものの、始まって3年が経ち、お出かけする場所や機会が増えたのは成果と言える。今後、制度の広報をしっかりと行うよう、執行部に伝える。また、議員も制度の中身をもっと深く研究する必要がある、現場での活動状況を知る必要がある。</p>		
		広島中央エコパークについて		
		<p>【相手方意見】</p> <p>他市ではゴミ処理施設で出る温水を利用し、温泉施設に活用して居るところもある。本市でもできないか。</p>		
		<p>【議会側意見】</p> <p>本市の焼却施設は指定管理となっており、現状では足湯として利用している。</p>		
		介護人材について		
<p>【相手方意見】</p> <p>ケアマネジャー等の人材不足が叫ばれる中、どのように人材育成・人材確保を行なっていくのか。</p>				
<p>【議会側意見】</p> <p>今後、議会に持ち帰り検討したい。</p>				

実施 内容 報告	意見交換	保険証の不正使用について
		<p>【相手方意見】 他の人の保険証を使って診療を受ける外国人がいるらしいとの話を聞くがいかがか。</p> <p>【議会側意見】 事例はわからないが、現在、保険証のマイナンバーカードへの紐づけが進んでいることから、そのような事例はなくなっていくと理解している。</p>
		<p>その他要望等</p> <p>【相手方意見】</p> <p>①地域の要となっている住民自治協議会だが、市議会だよりなどの広報誌や議会において「住民自治協議会」の名前を出してほしい。</p> <p>②議会は地域住民に対し、市政について長期的展望を持ち行政の報告をしてほしい。</p> <p>③貧困世帯等の生活困窮者をどのように支援していくのか。各家庭で起きている生々しい現状を把握し、議会でしっかりと取り上げてほしい。</p> <p>④子供たちに読書の更なる推進を図るために、各学校図書の本を市内各学校の中で循環させて、いつでも新しい本を読めるような工夫はできないか。</p> <p>⑤産学官だけではなく、この中に「民」を入れてほしい。</p> <p>⑥低料金、あるいは無料で利用できる施設が欲しい。</p>
	その他 特記事項 (意見・感想等)	<p>○元気輝きポイントは医療費抑制につなげる政策であるという点は概ね理解をいただけたが、その検証結果を明確に示して欲しいとの声があった。また、各地域で元気輝きポイントを運用していくために、活動範囲を柔軟に拡大することも検討課題となると感じた。</p> <p>○住民自治協議会を中心とする本日の参加者は、幅広い年齢層に関わる細かな地域課題を日々抱えている。地域と行政の細やかな連携が必要と感じた。</p>